

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	COVERT REVOLT		投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル	
RG	2.470	△RG	0.056	●ピン	★PAP	✕CG	■バランスホール

**テストボール：COVERT REVOLT**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  5 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

**比較対照ボール：PRIMAL RAGE**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  5 インチ

表面加工

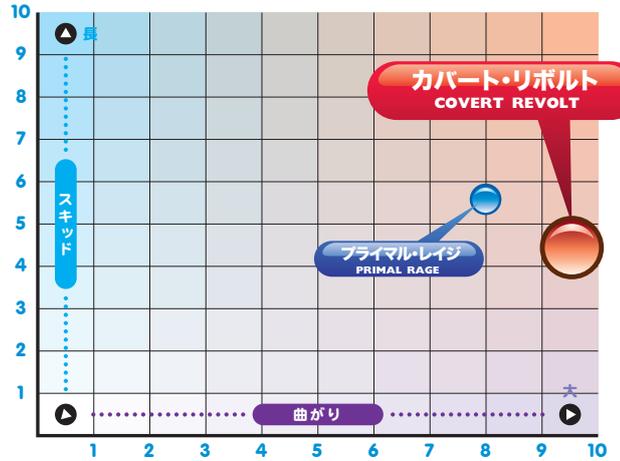
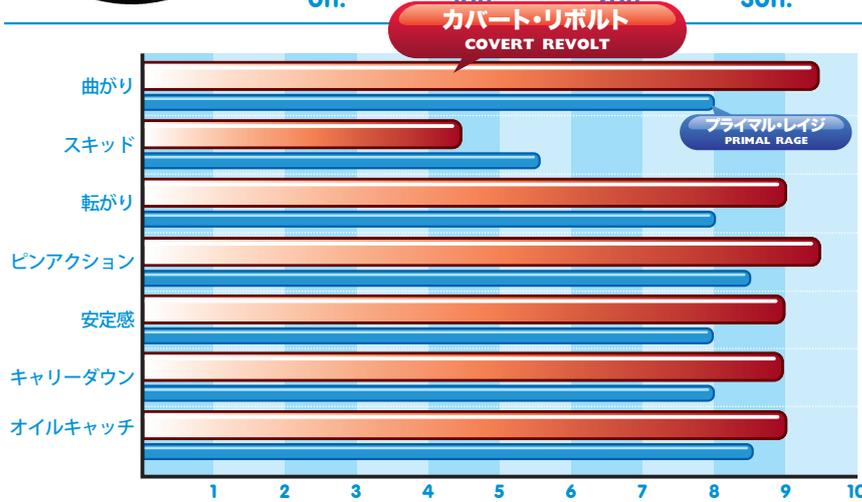
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

Primal RAGEで一気に上昇気流にのったMOTIV旋風はSIGMA STINGでも即日完売となり、また今回ご紹介するREVOLTでその名を確固とするものとなるでしょう。このREVOLTの注目点はPrimal RAGEやSIGMA STINGに使用していた定評のあるFusion Pearl Reactiveから”Turmoil HFS”という高いフリクション性をもつSolid系リアクティブを採用し、Raptorの”Predator”コアとTRIBALの”Halogen”コアを掛け合わせたイメージの”Vanquish”と名付けられた新しいコアテクノロジーを搭載しています。

私がテストした印象は、「このボールがMOTIV史上No1の仕上がり」だと思いました。リリースされた瞬間から中間のギアで転がり始めたボールはミッドエリアで強い影響を受け曲がり始め、そこから高いギアに入れ替わりピンヒットまで曲がりの強さを増す感じがしました。凄くミッドエリアでの曲がり始めの印象が強いのに、終わるところかロール域での曲がりの増すイメージは最近のボールにはないイメージで、今までもこのような曲がりのイメージはMOTIV社でもありませんでした。また最強と思わせる部分はピンアクション。非常に低く・柔らかいのもMOTIV史上1・2を争う良さだと思います。このボールで当たり前に曲がるラインも他社メーカーのボールでは曲がり得られないほど、さまざまなボウラーに質の高い曲がりを提供できると思います。ラインアジャストでPrimal RAGEやSIGMA STINGの前に他社のHI-パフォーマンスボールを使用されていた方、是非ともミディアムヘビー以上のコンディションでコントロール性の高いこのREVOLTをファーストボールとして使用してみませんか？

### 特記事項

**高いフリクション性能をもつ新しいカバーストック”Turmoil HFS”とVanquishコアとの組み合わせはMOTIV史上最高の仕上がりです。この機会に是非お試しください。**